

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 理学療法士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|------------|---------------------|---|-----------------------------|--------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 栄養と食事 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 301 |
| 担 当 教 員 | 多々納 浩 | 実務経験と その関連資格 | 島根県立大学 看護栄養学部健康栄養学科に勤務 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 人間にとっての栄養の意義、栄養と健康のかかわりについて、人間の生理機能との関連から、栄養の基本的概念と各種栄養素、栄養状態の評価、臨床栄養学としての食事療法を理解し、専門職として保健・医療の場での食に関する問題を把握・解決するための知識を習得する。主要食品の栄養学的意義を学び、各栄養素の消化・吸収について学習する。健康の維持・増進及び回復を図るための栄養学の基礎を学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| リハベーシック 生化学・栄養学 医歯薬出版 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 医学書院 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| テキストによる予習・復習を行う。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 生化学と栄養学の知識は対象者に安全で効果的な運動と活動を促すうえで不可欠だということを説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | リハビリテーションに活かす生化学・栄養学 | | | |
| 第2回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 酸化・還元反応や代謝について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 生化学・栄養学に必要な基礎化学 | | | |
| 第3回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 蛋白質の種類と働き、アミノ酸の種類と働きについて説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 蛋白質とアミノ酸 | | | |
| 第4回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 酵素の種類と働き、ホルモンの種類と働きについて説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 酵素とホルモン | | | |
| 第5回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 糖質の種類と代謝、脂質の種類と代謝について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 糖質・脂質の代謝 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| 第6回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | ビタミンの種類と働きについて説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ビタミン | | |
| 第7回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | ミネラルの種類と働きについて説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ミネラル | | |
| 第8回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 栄養素の消化吸収について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 消化と吸収 | | |
| 第9回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | エネルギー代謝について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | エネルギー代謝 | | |
| 第10回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 運動効果を高める食事や栄養摂取について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 運動と栄養 | | |
| 第11回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | リハビリテーション栄養ケアプロセスや多職種連携について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーションと栄養 | | |
| 第12回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 栄養スクリーニングツールや臨床検査値から栄養状態を説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 食品交換表 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 栄養評価 | | |
| 第13回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 主な病態や周術期の栄養管理について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 病態別の栄養管理 | | |
| 第14回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 栄養療法の種類や選択、エネルギー投与量について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 静脈・経腸栄養法 | | |
| 第15回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 嚥下障害の臨床的評価や訓練方法について説明できる。 | 教科書・配布資料 食品サンプル AV機器他 | 教科書を読んでくる。 授業のまとめをする。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 栄養と摂食嚥下 | | |